



戸別訪問による公共交通沿線住民への 利用促進啓発活動の普及へ向けた取り組み

富山市、富山地方鉄道(株)、(株)計画情報研究所

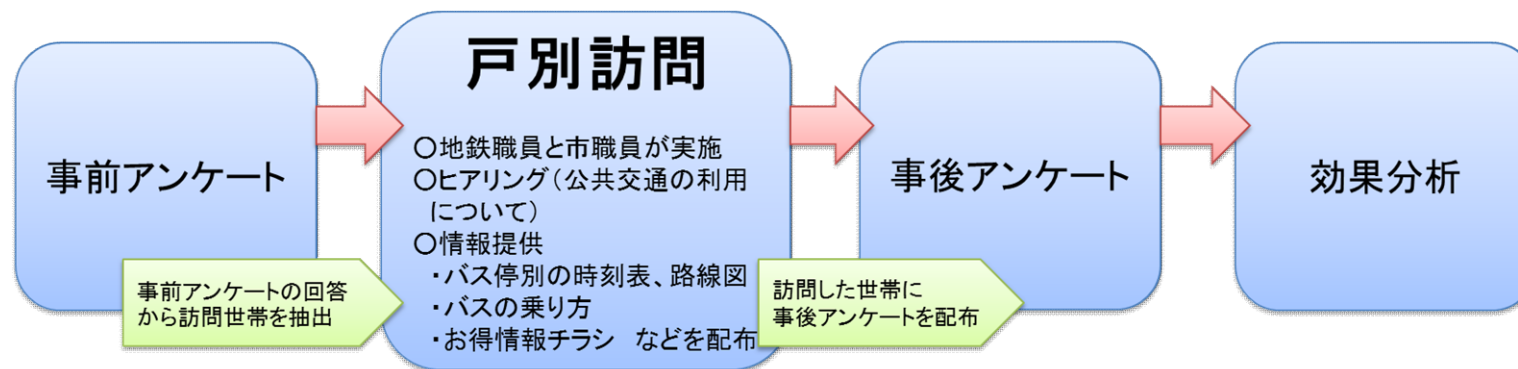
- ・沿線人口が多いにもかかわらず公共交通の利用が少ない地区を対象とし、交通事業者と連携して、特定の駅やバス停付近の住民を対象にアンケートや戸別訪問を実施する。
- ・交通事業者において独自に営業活動が行えるよう、効率よく効果を挙げられるモビリティ・マネジメント手法を分析しマニュアル化する。



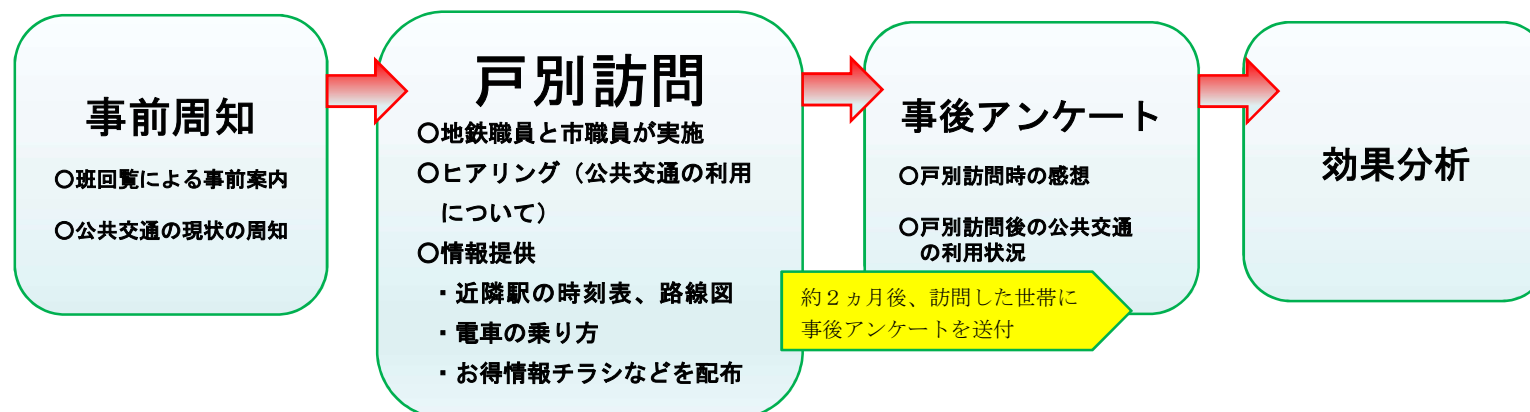
戸別訪問による公共交通沿線住民への利用促進啓発活動
「**駅・バス停別利用促進啓発事業**」の実施(H28～H30)

1. 戸別訪問による利用啓発活動の概要

(1) フルセットTFP方式 (H28、H29)



(2) ローラー方式 (H30)



〈事業の流れ〉

2. 戸別訪問による利用啓発と各種情報提供

最近、バスに乗りましたか？

この「おでかけバスマップ」は、みなさんのお住まいの近くにある藤の木循環バス停の情報と、そこからバスに乗って気軽におでかけできるまちなかの楽しいスポットをまとめました。路線バスに乗って、おでかけしてみませんか？

お問い合わせ先
富山地方鉄道テレホンセンター
TEL (076) 432-3456

平日 8:30 ~ 17:30 / 土日・祝日 休み
※2025年分

【バス時刻表】かえり

●は藤の木止まり

休日は土曜、日曜、祝日の運行です。(8/14~8/16、12/30~1/3は休日運行です)

富山駅前 ⇒ 藤の木循環 総曲輪 ⇒ 藤の木循環

系統	67		60		系統	67		60	
	平日	休日	平日	休日		平日	休日	平日	休日
行先	藤の木循環	五百石駅前	藤の木循環	五百石駅前	行先	藤の木循環	五百石駅前	藤の木循環	五百石駅前
6	35		38		6	38		38	58
7	30	05 35 55	33	08 38	7	33	08 38	33	58
8	00 30	20	33	23	8	03 33	23	48	58
9	00 30	20	33	23	9	03 33	23	48	58
10	00 30	20	33	23	10	03 33	23	48	58
11	00 30	20	33	23	11	03 33	23	48	58
12	00 30	20	33	23	12	03 33	23	48	58
13	00 30	20	33	23	13	03 33	23	48	58
14	00 30	20	33	23	14	03 33	23	48	58
15	00 30	20	33	23	15	03 33	23	48	58
16	00 40	30 20 05	33	23	16	03 43	33	23	08
17	+10 40	30 20 55	33	23	17	+14 44	33	24	58
18	10 +40	30 40 50	33	23	18	14 +43	33	43	53
19	10	30	33	23	19	13	33	43	53
20	10 +40	30	33	23	20	13 +43	33		
21	20	+40	23	+43	21	23	+43		
22	+05		23	+03	22	+08			
23	+00				23	+03			

のりばのご案内

藤の木循環のバス停位置は下図の通りです。①大島、②藤の木、③大島新町の3バス停は60番路線も停車します。(五百石行) 乗客バスの発着時刻は、掲載時刻表とバス停間の移動時間よりご確認ください。

藤の木循環バス停

総曲輪バス停

富山駅前バス停

【バス時刻表】ゆき

休日は土曜、日曜、祝日の運行です。(8/14~8/16、12/30~1/3は休日運行です)

①は大島止まり
●は富山駅北口 経由 赤十字病院 ゆき

大島新町①(藤の木方面) ⇒ 富山駅前		新金代④ ⇒ 富山駅前		藤の木北口⑦ ⇒ 富山駅前		大島⑩ ⇒ 富山駅前	
系統	67	系統	67	系統	67	系統	67
行先	富山駅前	行先	富山駅前	行先	富山駅前	行先	富山駅前
	平日	平日	平日	平日	平日	平日	平日
6	54	30 56	30 56	33 59	38	06 +27	10 33
7	50	21 54	+20 52	03 26 59	7	06 +27	10 33
8	+20 50	39	+22 52	44	8	02 +32	07 52
9	+19 49	+39	+21 51	+44	9	02 +31	+52 14
10	+19 49	39	+21 51	41	10	01 +31	52 14
11	+19 49	+39	+21 51	+41	11	01 +31	+52 24
12	+19 49	39	+21 51	41	12	01 +31	52 24
13	+19 49	+39	+21 51	+41	13	01 +31	+52 24
14	+19 49	39	+21 51	41	14	01 +31	52 24
15	+19 49	+39	+21 51	+41	15	01 +31	+52 24
16	+19	49	+21	51	16	01 +31	49 24
17	00 (32)	49	17	02 (34)	17	12 (42)	02 45 24
18	02 32	49	18	04 34	18	14 44	02 29
19	(00) 29	46	19	(02) 31	19	(10) 41	02 56 09
20	27 (56)	46	20	30 (58)	20	39	56
21	37	(56)	21	40	21	(06) 49	
22	(21)		22	(23)	22	(31)	(06)
23	(16)		23	(18)	23	(26)	

〈利用啓発ツール〉
対象地域に特化した時刻表・マップ

2. 戸別訪問による利用啓発と各種情報提供

(1) 公共交通の現状について

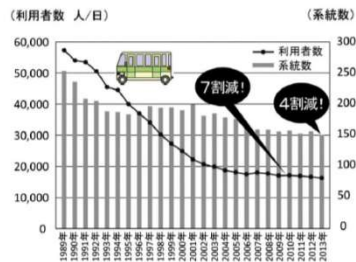
はじめに、富山県内の路線バスの現状についてお知らせします。

①過度な自動車依存

富山県の世帯当たりの自動車保有数は約1.7台と、全国で2番目に高く、日頃の移動手段としても自動車に7割を占めています。他都市と比べても、過度な自動車依存の状況となっています。

②路線バスの系統数の減少

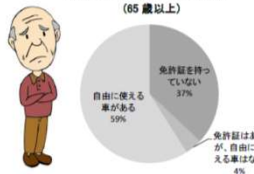
自動車ばかりに頼った生活スタイルは公共交通の衰退をもたらします。
平成元年からの25年間で、路線バスの利用者は7割減少し、系統数は4割減少しています。身近な公共交通であるバスほど、衰退している状況です。



③自動車は確かに便利。一方で、65歳以上の4割が自動車を自由に使えない

高齢化や核家族化が進む中、自動車以外の交通手段を確保することは、住みなれた地域で暮らし続けるための重要な課題となっています。

自動車を自由に使えない人の割合 (65歳以上)

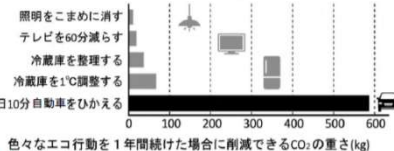


④バスは運賃が高いから… 自動車は安上がりって本当？

2000ccの自動車の維持費を試算したところ、燃料・保険・税金・駐車場代などで、1日あたり約1,300円の維持費がかかります。車輛の購入費を含めると1日約2,000円以上かかります。

(2) 交通と環境について

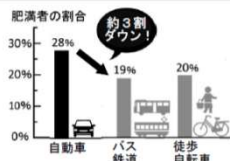
環境に優しい行動にはいろいろありますが、中でも、「自動車利用を控える」という行動が大変効果的です。
節電やクールビズ等の何十倍、何百倍ものCO₂削減効果があるといわれています。



【参考】環境配慮行動における客観的CO₂排出削減量
事業情報提供の効果に関する実験研究(2006)
太田裕之・藤井聡、土木学会・論文集 G, 23, pp.497-504

(3) 交通と健康について

歩くことは健康づくりに効果的な運動とされていますが、自動車に頼った生活では、歩く機会が減ってしまいます。
実際、バスや鉄道、徒歩、自転車で通勤している人は、自動車通勤している人よりも、肥満になる確率が、3割程度も低いことが知られています。



※肥満=25<BMI(=体重/身長²)
【参考】個人の通勤交通行動が健康状態に与える影響に関する研究(2006)
村田香織・宣町泰徳、土木計画学研究・論文集 23, pp.497-504

〈MM啓発〉
自家用車から公共交通への転換を図る

「大泉駅前」バス停 サイクル&バスライド駐輪場のご案内

1 サイクル&バスライド駐輪場とは…

自宅から最寄りのバス停まで自転車で行き、路線バスに乗り換えて目的地まで移動する方がご利用できる専用駐輪場で、ご利用は無料・申込不要です。
通勤・通学・お出かけに、ぜひご利用ください。



2 設置場所

バス停名称	サイクル&バスライド駐輪場の場所	利用可能台数
大泉駅前	市営住宅山登団地内(山登新町38-12)	約5台



大泉駅前
大泉駅
山登山登二丁目・上河原

1号線
2号線
3号線
西堂町

大泉駅前
大泉駅

セブンイレブン

駐輪場
バス停

【大泉駅前】バス停の隣に設置されています。

3 ご利用上の注意点

- ア バスに乗り継ぎされない方の駐輪はご遠慮ください。
- イ 自転車の放置は厳に禁止します。
- ウ 降雪時等は、ご利用いただけない場合があります。
- エ 周辺住民の方や他の利用者にご迷惑のかからぬよう、マナーを守ってご利用ください。
- オ 駐輪場内での盗難及び事故等による損害には、管理者は一切その責任を負いません。

【お問い合わせ先】富山市 活力都市創造部 交通政策課 TEL(076)443-2195

〈サイクル&バスライド〉
バス停付近への駐輪場の整備

2. 戸別訪問による利用啓発と各種情報提供

日頃の公共交通利用の状況を伺いながら、対象者に応じて以下のツールを提供した。

	啓発ツール	目的
市	ア) おでかけのりものマップ	市内の公共交通の紹介
	イ) おでかけ公共交通マップ	バス停別の時刻表、おでかけ情報の提供
	ウ) おでかけ定期券チラシ	65歳以上の方へのお得な定期情報の提供
	エ) レールライフプロジェクトチラシ	自動車の健康や環境への影響について
	オ) サイクル&バスライドチラシ	サイクル&バスライド利用情報の提供
	カ) 免許自主返納支援チラシ	免許返納された方への支援に関する情報の提供
	キ) 戸別訪問事前周知チラシ	公共交通の現状等の情報の提供
交通事業者	ク) えこまいかチラシ	お得なICカード情報及び特典情報の提供
	ケ) えこまいか	もっておられない方へのICカードの提供
	コ) ゴールドパス・夫婦deゴールドチラシ	63歳以上の方へのお得な定期情報の提供
	サ) 学生年間定期チラシ	学生へのお得な定期情報の提供
	シ) 免許自主返納運賃割引サービスチラシ	免許返納された方への得な情報の提供
	ス) バスの乗り方チラシ	バスに乗ったことのない方への情報提供

3. 戸別訪問の主な実績と効果

対象年度	アンケート 配布世帯	回答世帯	戸別訪問 世帯
平成28年度 (中市・分田)	4,500世帯	914世帯	205世帯
平成29年度 (藤ノ木循環)	4,996世帯	1,479世帯	368世帯

対象年度	対象世帯	訪問世帯	戸別訪問 世帯
平成30年度 (大泉駅周辺)	2,000世帯	1,032世帯	341世帯

〈戸別訪問世帯数〉

3. 戸別訪問の主な実績と効果



〈戸別訪問の様子〉

3. 戸別訪問の主な実績と効果

【平成30年度 戸別訪問世帯数】(不在世帯には資料を投函)

総訪問世帯数	面会世帯数 (うち集合住宅)	不在世帯数 (うち集合住宅)
1,032世帯	341世帯 (135世帯)	691世帯 (421世帯)

【事後アンケート回収率】(事後アンケートを希望しない旨の申し出があった世帯には送付していない)

配布数	回収数	回収率(世帯)
258世帯	154世帯	59.7%

①H30 戸別訪問に関する事後アンケート回答

◎対象者への利用啓発による意識変化(表1)

回答内容	人数	割合
戸別訪問で提供した「おでかけ公共交通マップ」 (大泉地区の時刻表・路線図)は有益だった(N=122)	112人	92%
戸別訪問を受けて、電車や路線バスを利用しようと思った (N=144)	116人	81%

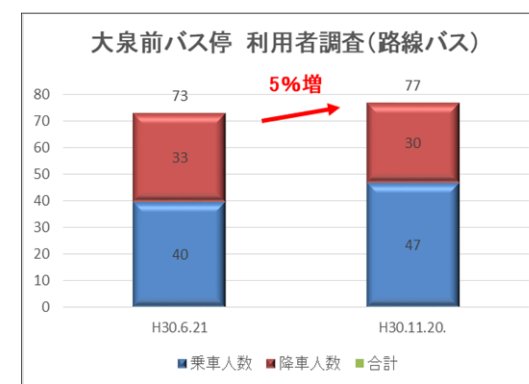
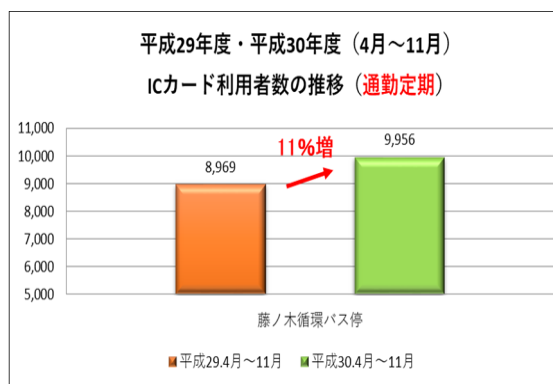
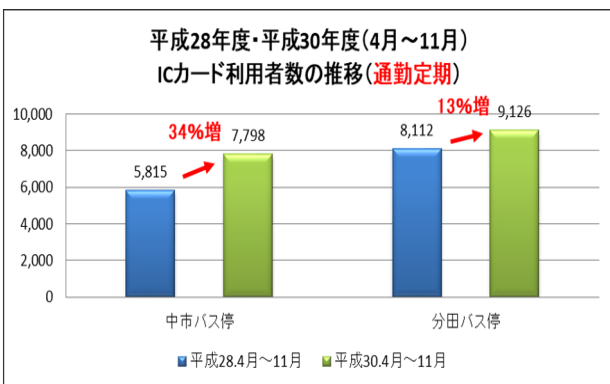
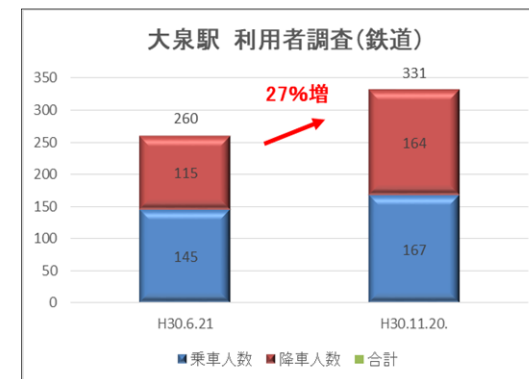
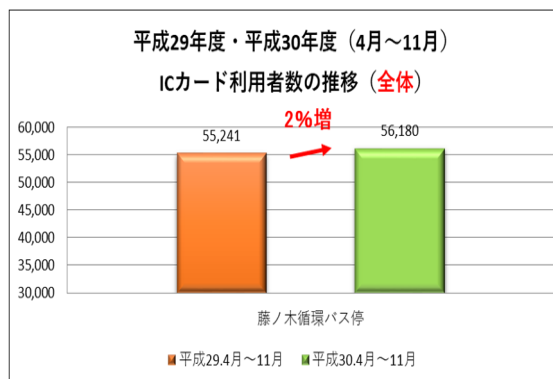
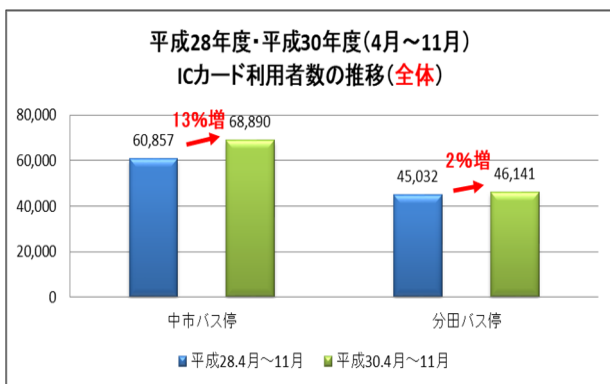
◎バスの利用頻度向上や自動車の利用抑制等(表2)

回答内容	人数	割合
戸別訪問をきっかけに、 <u>電車・バスの利用が増えた</u> (N=142)	22人	16%
戸別訪問をきっかけに、 <u>自動車利用が減った</u> (N=135)	5人	4%
戸別訪問をきっかけに、 <u>まちなかへ行く機会が増えた</u> (N=136)	15人	11%

〈H30の事後アンケート結果〉

3. 戸別訪問の主な実績と効果

☆ 戸別訪問による利用啓発活動実施地区において利用者が増加



4. 「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」の作成

3. 戸別訪問のフロー

戸別訪問は、下記フローの4ステップを踏みます。
なお、状況に応じて順番を組み替えたり、組み合わせたりしてください。

【ステップ】	【プロセス】	【作業期間の目安 [※] 】
ステップ1		
戸別訪問の計画	① 戸別訪問の対象エリアの選定	1~2ヶ月
	↓	
	② 戸別訪問実施体制の検討	
	↓	
	③ 戸別訪問実施時期・時間の選定	
ステップ2		
戸別訪問の準備	① 啓発ツールの作成	1~2週間
	↓	
	② 戸別訪問の対象エリアの自治会長などへの説明	
	↓	
	③ 事前案内	
	↓	
④ 戸別訪問事前対応練習		
	↓	
	⑤ 訪問経路の検討	
	↓	
	⑥ 訪問前の準備物	
ステップ3		
戸別訪問の実施	① 戸別訪問の実施	1~2週間
ステップ4		
フォローアップ	① 戸別訪問の記録	1~2ヶ月
	↓	
	② 現場へのフィードバック及びサービスの改善	
	↓	
	③ 効果把握	

〈手続きフロー〉

〈ステップ1〉戸別訪問の計画

- ・1名の担当職員で約2か月を想定。

〈ステップ2〉戸別訪問の準備

- ・1名の担当職員で約2週間を想定。

〈ステップ3〉戸別訪問の実施

- ・戸別訪問の期間: 約1ヶ月の期間で、戸別訪問を10日間程度実施を想定。
- ・戸別訪問の訪問数: 500世帯程度。
(うち面会世帯数: 150世帯程度)
- ・1世帯当たりの面談時間は10分程度
- ・2名1組で1日20~30軒の訪問を想定
- 【参考: H30実績】**
- ・約1ヶ月で、戸別訪問を19日間実施。
- ・1,032世帯を訪問し、341世帯を面談。
- ・(不在691世帯には、利用啓発ツールを投函。)
- ・実施時間は半日(3時間)×33回=延べ99時間。
- ・動員人員は33回×2名=延べ66名。

〈ステップ4〉フォローアップ

- ・1名の担当職員で約2か月を想定。

4. 「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」の作成

【啓発ツール作成フォーマット（バス版）】



※原本は Word (File : 啓発ツール作成フォーマット【バス版】.docx を使用)。

【啓発ツール作成フォーマット（鉄道・バス版）】



※原本は Word (File : 啓発ツール作成フォーマット【鉄道・バス版】.docx を使用)。

〈ツール作成フォーマット〉

○啓発ツール作成の必要性

必要性1 対象エリア内住民に啓発ツールは好評です

※啓発ツールを有益な情報と感じた人は9割を占めます。(H30実績)

必要性2 公共交通を利用したことがない住民にとって啓発ツールは意識醸成・行動変容のきっかけとなります

※啓発ツールで公共交通の情報(運行時間帯、運行本数、運行路線マップなど)を知ること、移動手段の1つとして認識してもらいます。

必要性3 戸別訪問の際に啓発ツールを活用すると話が進めやすいです

※戸別訪問の実施概要は以下のとおりです。「②動機づけ！」において、居住地近くのバス停や駅の情報を基に話を進めるため、啓発ツールがあると便利です。

〈戸別訪問の実施概要〉

① 話を聞く！

- ・公共交通の利用状を確認します

② 動機づけ！

- ・公共交通の利用状況別に動機づけを行います

※例：利用が少ない人には、どんな時に公共交通が利用できそうか考えてもらいます

③ 情報提供！

- ・相手に合わせた情報を提供します

4. 「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」の作成



〈訪問マップの記載例〉

番号.....

戸別訪問記録票

日時年.....月.....日(.....曜日)	
訪問先	町内会町内会
	住所	富山市.....
	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	推定年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
	居住者名様
訪問者	
意見（公共交通の利用状況、改善要望など）		
提供資料	

〈訪問記録票等の様式〉

4. 「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」の作成

「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」をはじめ、「啓発ツール作成フォーマット」、「自治会等への事前案内資料」、「戸別訪問時の不在連絡票」、「戸別訪問記録票」、「事後アンケート」の各サンプルについては、**本市ホームページで公開し、二次利用が可能！**

▶ 駅・バス停別利用促進啓発事業について

(第14回日本モビリティ・マネジメント会議「プロジェクト賞」受賞)

1. 概要について

公共交通の利用促進を図るため、沿線人口が多いにもかかわらず、公共交通の利用が少ない地区を対象とし、特定の駅やバス停において戸別訪問やアンケートの手法により、交通事業者と合同で利用啓発を行いました。

また、事業期間(平成28年度～平成30年度)において、効率良く効果をあげられるモビリティ・マネジメント手法を標準化し、交通事業者が自主的に利用啓発活動ができるよう「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」を作成しました。

2. 主な事業の内容について

(1) 事業の流れ



(注：H30は事前アンケートを省略)

(2) 主な利用啓発ツール(平成29年度に藤の木地区で使用したもの)
対象地域に特化した時刻表やマップ等を、交通事業者と合同で戸別訪問した際に情報提供しました。



(3) 事業の主な実績と効果


【平成30年度に実施した大泉地区での戸別訪問に関する事後アンケートの回答】
戸別訪問対象者への事後アンケートでは、公共交通の利用や自動車利用の抑制について意識変化がみられました。

項目	回答数	割合
公共交通の利用が以前より増えた	15	75%
公共交通の利用が以前より減った	5	25%
変化がなかった	0	0%

項目	回答数	割合
自動車の利用が以前より減った	10	50%
自動車の利用が以前より増えた	10	50%
変化がなかった	0	0%

【平成28年度に実施した地区での利用者数の推移】

事業実施地区では、利用者の増が確認されました。



3. 「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」について

(1) 概要


「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」は、平成28年度から平成30年度までの3カ年にわたり、本市が交通事業者と協力して戸別訪問等による公共交通の利用促進活動を実施した「駅・バス停別利用促進啓発事業」の実績を基に作成しました。

本手引きは、交通事業者が主体的となって、利用啓発ツールを活用した戸別訪問による利用啓発活動ができるように、具体的な手法や実施のための着眼点・留意点などをまとめたものです。









(2) 手引きと各種参考フォーマットについて

「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」及び手引きに掲載されている啓発ツールの作成フォーマット等は、下記からダウンロードして、公共交通の利用促進活動にお役立てください。

【手引きのダウンロード】

- 「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」 (3,200kbyte) 

<各種参考フォーマット>

- ・啓発ツール作成フォーマット【バス版】 (1,602kbyte) 
- ・啓発ツール作成フォーマット【鉄道・バス版】 (2,715kbyte) 
- ・【啓発ツール作成例】A4・両面 (303kbyte) 
- ・【啓発ツール作成例】A3・両面 (1,496kbyte) 
- ・自治会等への事前案内資料 (1,303kbyte) 
- ・戸別訪問時の不在連絡票 (50kbyte) 
- ・戸別訪問記録票 (15kbyte) 
- ・事後アンケート (31kbyte) 

富山市 戸別訪問  検索 

5. 事業評価

- ①実施地区で公共交通の利用者が増加傾向にある
⇒ 戸別訪問による利用啓発活動の効果を確認
- ②複数の戸別訪問方法を試行し、交通事業者の負担を考慮した方法を検討
⇒ 効率的な利用啓発活動の確立
- ③交通事業者に対し、市としてどのような支援をすべきかを検討
⇒ 実現可能な協力体制と支援策の確立
- ④交通事業者と市が協力して利用啓発活動を実施する素地の形成
⇒ 利用啓発活動に対する意識と一体感の醸成
- ⑤事業推進マニュアル「戸別訪問による公共交通利用促進の手引き」を作成
⇒ 他の交通事業者への普及推進策の確立

A dark blue background with a grid of lighter blue dots. The dots are arranged in a pattern that is roughly rectangular, with some dots missing or faded towards the edges, creating a subtle grid effect. The text is centered horizontally and vertically.

ご清聴ありがとうございました。